

ひだまり+

We provide lifelong supports for every woman to live vividly and stay healthy at any age.

東部地域のお母さんを守ります!

私たちは高知県東部地域とともに歩み、人々の心とからだの健康を支えていきます。



35

TAKE FREE

2026年春号



いつも身近に♪

特集

あき総合病院の院内助産とは?

- ・座談会「新しいお産のかたち」
- ・助産師と歩むマタニティライフ
- ・医療連携・バックアップ
- ・新設「産後ケア」

外来診療一覧表

背景ありの表示は再診の予約患者さんのみです。また、精神科と禁煙外来は完全予約制となっています。医療機関の方へ…金曜日午後の脳神経外科と月曜日、木曜日午後の神経内科については、初診の予約を受け付けています。下記の診療一覧表は令和8年2月1日時点のものです。手術や出張等により予定が変更となる場合がございます。どうかご了承ください。
●午前受付/8時30分～11時30分 ●予約変更/14時～16時



診療科	時間	曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
A 外来	午前	初診外来	坂井隆志	診療応援	坂井隆志	初診外来		
		前田博教	山本盛雄		山本盛雄	前田博教		
		山本盛雄			ストーマ外来			
	午後				田村昌也(第1・3・5)			
					応援医師(第2・4)			
形成外科	午前			高知大医師				
脳神経外科	午前		高知大医師		岡田憲二			
	午後		岡田憲二		岡田憲二		高知大医師(第1・3・5)	
胸部・心臓血管外科	午後					三浦友二郎(第1・3・5)		
						応援医師(第2・4)		
B 外来	午前		森尾真明	江田雅志	森尾真明	森尾真明	江田雅志	
			的場 俊	吉本龍太郎	江端希澄	的場 俊	吉本龍太郎	
			大高泰幸	的場 俊	田尻 巧	高知大医師	高知大医師	
			江端希澄	岡本 修	安倍秀和	江端千尋	田尻 巧	
	消化器内科	午前(受付10時まで)		大崎純子		高知大医師		大崎純子
	午後		大崎純子		高知大医師			
	呼吸器内科	午前				窪田哲也		平川慶晃/中村優美
	午後			高知大医師	窪田哲也			
	循環器内科	午前	桑原昌則	古野貴志	倉岡駿太郎	尾崎 郁	古野貴志	
	午後	高知大医師	ペースメーカー外来		桑原昌則	倉岡駿太郎		
神経内科	午後		吉本大治		橋本 侑			
整形外科 (リウマチ科) (リハビリテーション科)	午前 (受付11時まで)		今里滋宏	内村健一郎	市川徳和(月1回)		内村健一郎/戸田愛巳	
			南場寛文	南場寛文	今里滋宏			
			初診外来	戸田愛巳	初診外来			初診外来
血液内科	午前			高知大医師		高知大医師		
C 外来	午前		篠田知周	篠田知周	篠田知周	篠田知周	篠田知周	
			前田賢人	前田賢人	前田賢人	前田賢人	前田賢人	
	午後 (受付14時30分～16時)		篠田知周	乳児健診	篠田知周	予防接種	篠田知周	
		前田賢人		前田賢人		前田賢人		
小児循環器	午後 (受付14時30分～16時)			高知大医師(第3)				
小児外科	午後		伊勢一哉(第1・3・4)					
耳鼻科	午前		西山正司		西山正司	西山正司	西山正司	
			小佐井 創		小佐井 創	小佐井 創	応援医師	
	午後		西山正司	西山正司	西山正司		西山正司	
		小佐井 創	小佐井 創	小佐井 創				
皮膚科	午前		三好 研	三好 研	三好 研	三好 研	三好 研	
	午後 (受付13時～15時20分)				三好 研			
泌尿器科	午前			辛島 尚	吉村理愛	辛島 尚		
				水谷圭佑	水谷圭佑	吉村理愛		
	午後 (受付14時～15時30分)		辛島 尚	井上啓史(月1回)	吉村理愛		水谷圭佑	
産婦人科	午前		岡田真尚	池上信夫	岡田真尚(産科)	池上信夫	岡田真尚	産科(第2・4)
			池上信夫	応援医師	池上信夫		池上信夫(産科)	
	午後 (受付14時～15時30分)		岡田真尚	1カ月検診			岡田真尚	
							池上信夫(産科)	
母乳外来								
眼科	午前		吉田和之	吉田和之	吉田和之	吉田和之	吉田和之	
			山内瑞季	山内瑞季	山内瑞季	山内瑞季	山内瑞季	
	午後 (受付14時～15時30分)		吉田和之		山内瑞季		吉田和之	
		山内瑞季		山内瑞季				
E 外来	午前	新患	赤川美貴		藤 美佳子	谷脇 肇	徳岡雅嘉	
		再診		徳岡雅嘉	藤 美佳子	赤川美貴	徳岡雅嘉	藤 美佳子
				谷脇 肇	谷脇 肇	徳岡雅嘉	藤 美佳子	赤川美貴





詳細はこちらから
ご確認ください

地域のお母さん、に選ばれる 新しいお産のかたち

2026年4月、あき総合病院の院内助産がはじまります。
新たに目指す「お産」とはどんなものなのか、
地域の周産期医療を支える現役の助産師の皆様にお話をいただきました。



中山 絵里名
(助産師歴/8年)

社会人、看護師の経験を経て助産師に。多様な経験を強みに「あなたが担当でよかった」と言ってもらえる助産師を目指します！



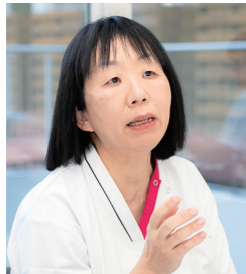
明神 美奈
(助産師歴/13年)

看護師として8年勤務しながら、助産師資格を取得。副看護長として、今後もいろいろなことに挑戦していきます！



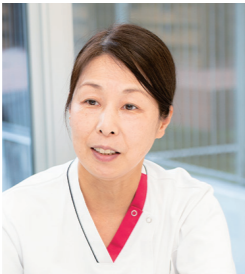
有澤 久子
(助産師歴/38年)

妊婦さんやご家族の思いや希望を大切に、自然な力が発揮できる、赤ちゃんに優しい助産ケアに努めます！



米田 更織
(助産師歴/15年)

安全で満足なお産になるように、妊娠中からお母さんやご家族とともに歩みます。母乳育児のご相談もぜひ！



院内助産には どんなメリットが ありますか？

中山 院内助産を利用する最大の利点は、お母さんが大きな安心感を持って出産に臨むことができることです。妊娠中の外来でのサポートが手厚くなりますので、これまで以上に助産師や医師の存在を身近に感じることができると思います。エコーを取りながら助産師と赤ちゃんについて気軽に相談したり、出産に向けた思いや不安を助産師に打ち明けたら、何気ない会話を交わして気持ちを和らげたりすることも可能です。なにより出産時には、そんな助産師が一番近くにいますので、安心してお産に臨めると思います。

有澤 医師のバックアップ体制が充実しているのも大きなポイントです。長年助産師として働いてきましたが、健康な妊婦さんであっても、出産時に予期しない事態が発生する可能性は決してゼロではありません。そのため、普段は助産師がお産を見守りながら、緊急時にはすぐに理解のある医師の管理に移行できる体制があるのも、院内助産の大きなメリットだと思います。

米田 私たち助産師としても、お母さん方に「自分がどのように赤ちゃんを産み育てたいか」ということをイメージしてもらいながら、その思いに沿った切れ目のないサポートしたいという思いがあります。今回の院内助産では、バイスプラン作成や産後ケアの拡充にも力を入れていますので、院内助産を通して、その道筋ができていくのを、よりお母さん自身が体感しやすいかなんかではないかと思っています。

あき総合病院が 院内助産で 目指すものは？

明神 あき総合病院は高知県東部で唯一の出産が可能な医療機関です。しかし、遠方や中山間地域に位置する市町村からは、通院に時間がかかることが避けられず、特に妊婦さんにとってはこの「地理的な問題」が、身体的・精神的な負担や不安を引き起こす要因になっていました。そこで、本年度より新たにはじまる院内助産システムでは、「これまで長らく東部地域が抱えてきたお産に関する課題やリスクを、「助産師のサポート」と「医師との連携」により緩和していくことを大きな目標としています。

米田 様々な周産期医療に関する課題を抱えている東部地域だからこそ、私たち助産師や医師が、地域の妊婦さん一人ひとりの背景や感情にも寄り添いながら、妊娠期から子育て期における切れ目のない支援を行っていきけるような医療サービスが求められていると感じています。これから先、東部地域で暮らすお母さんたちが、安心して赤ちゃんを生み育てる環境を整えていくためにも、このような地域に適応した「新たなお産のかたち」が必要だと思っています。

地域のお母さんに 伝えたいこと

有澤 私たち助産師は「お母さんの産む力」を信じています。院内助産では、安心・安全なお産を実現するための体制を整え、身体の声聞きながら産みやすい体勢で分娩に臨むことができる「フリースタイル分娩」など、お母さんが「自分で産んだ」と実感できる仕組みを充実させています。自分のペースで分娩に臨むことで、お母さんと赤ちゃんの負担を軽減し、産後の育児においても座った時に痛みを感じることや、赤ちゃんのミルクの飲みが悪いといったことが少なくなるような、母子に優しいお産を提供していきたいと考えています。

院内助産

助産師と歩む
マタニティライフ

あき総合病院の院内助産システムでは、妊娠の初期から出産に至るまで助産師が一貫してサポートを行います。妊婦さんが胎児と共に過ごす重要な準備期間を、いつも隣でお支えます。



顔なじみになれる
安心感

1

院内助産対象者を選択

妊娠初期～30週頃

令和8年4月より、院内助産システムが開始されます。このシステムでの分娩には対象基準があり、当院の院内助産では「経産婦さん」を対象としています。妊娠30週頃を目処に、対象となる妊婦さんは院内助産への移行が可能となります。初産婦さんや医師立ち合いでの分娩が望ましい場合は、院内助産ではなく、従来通りの分娩が行われます。

あなたらしい
お産について、
考えてみましょう！

あなたの一番の
味方です



3

あなただけのバースプラン作成

妊娠初期～30週頃

妊娠初期から始められる、あなただけのバースプランの作成です。どのような流れで、どのようなお産を希望するのか、出産後にはどのような生活を送りたいのかなど、家族(夫)ともじっくり相談しながら考えてみてください。作成したバースプランは妊娠30週頃に確認を行い、希望に沿った妊娠生活と分娩、産後の生活が送れるようにサポートいたします。

私たちが
そばにいます



4

専属助産師が
付き添う出産

分娩まで

入院時から担当の助産師が継続的に分娩をサポートいたします。妊婦さんの心身をしっかりと支えながら、出産当日には専属の助産師がマンツーマンで分娩が終了するまで付き添い、妊婦さんが安心して出産を迎え、安全に終わられるようサポートいたします。また、分娩スタイルについても、ご相談に応じて細かく設定可能なフリースタイル分娩を取り入れています。

あなたの声を
聞かせて下さい



2

助産師外来でじっくり相談

妊娠初期～39週頃

妊婦の皆様が妊娠初期から安心して日常生活を送れるよう、助産師がしっかりとサポートいたします。気になることや不安なことなど、この時期の妊婦さんが抱える悩みや不安を助産師がじっくりとお伺いし、個別相談にて対応いたします。また、妊娠30～39週までの院内助産対象の妊婦さんは、助産師が検診を担当し、エコーで赤ちゃんの発育確認も行います。

あなたに合ったお産を希望できる
バースプラン

バースプランとは、妊婦さんが「どんなお産をしたいか」を事前にまとめた希望書の事です。事前に話し合うことで、満足度の高い出産につながります。「絶対にこうしたい」という契約書ではありません。母子の安全を最優先とし、状況によって変更になることがあります。



早めに
抱っこしたい

できるだけ
自然分娩がいい

母乳育児を
頑張りたい

音楽を
流したい

会陰切開は
できれば避けたい

和室で出産



分娩室で出産

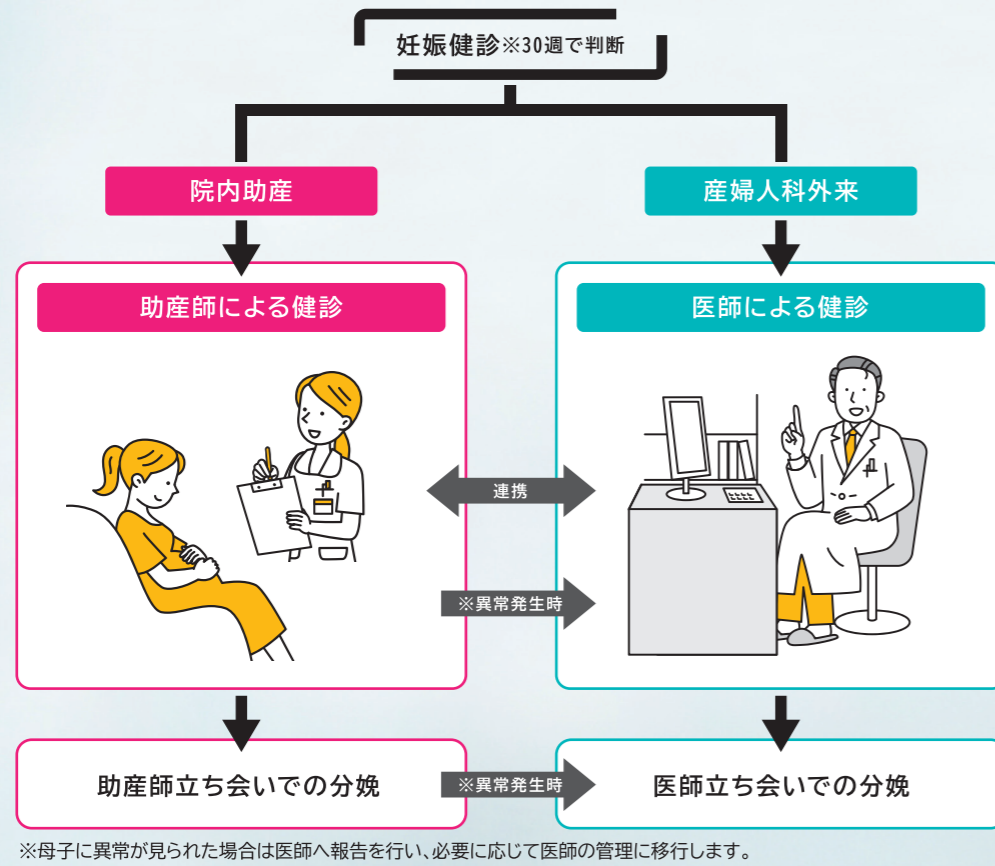


あなたに合ったお産が選べる
フリースタイル分娩

フリースタイル分娩とは、陣痛の痛みや赤ちゃんの位置に合わせて、横向き、四つん這い、座る、立つなど、最も楽な姿勢で出産する方法です。場所も和室・分娩室から選ぶことができ、自然な体位と妊婦の主体性を尊重することでリラックス効果があり、会陰切開の減少も期待されます。

院内助産を支える 医療連携 バックアップ体制

安心・安全なお産ができる地域づくり
助産師と医師によるWサポート体制であき総合病院は地域の周産期医療を支えます。



※母子に異常が見られた場合は医師へ報告を行い、必要に応じて医師の管理に移行します。



私たちが
お手伝い

あき総合病院の産婦人科病棟スタッフ。妊婦さんに寄り添う万全の体制で、地域のみなさんのお産を全力でサポートします！



小児科医
前田 賢人



助産師
明神 美奈

産婦人科医
池上 信夫



産婦人科医
池上 信夫



産婦人科医
池上 信夫



産婦人科医
池上 信夫

なぜ今、院内助産が
求められて
いるのでしょうか？

院内助産とは、正常な経過をたどる妊婦を助産師が中心となって出産を支援し、異常が発生した場合に、速やかに医師へと連絡する仕組みです。

助産師は妊娠、出産、育児の専門家として、妊婦の身体だけでなく、生活背景や思いに寄り添い、継続的に支援を行い、さらに、医師や看護師、小児科医、地域の保健師などの他職種も連携協力することで、安全性を確保しつつ、安心して出産できる環境を整えることが可能です。

現在、高知県東部では産科医の減少や施設の集約により、出産可能な場所が減少しています。そのため、妊婦は高知市内の病院まで通院したり、出産のために長距離を移動する必要があったりと、身体的および精神的な負担や不安が増大しています。

このような地域に住む人々が、地域の中で安心して赤ちゃんを産み、育てたい場所を守るために、今こそ院内助産を始める意義があります。

県立あき総合病院としての 強みを活かす 院内助産システム

高知県立あき総合病院は、高知県東部の中心的な総合病院です。内科・外科をはじめ、救急医療や小児科も完備しており、多くの医師、看護師、助産師が日常的に協力して医療を提供しています。

特に、周産期医療においては、普段は助産師が中心となり、妊婦一人ひとりの思いや不安に寄り添い、丁寧に支援を行いながら、万が一、出産中に急な変化や異常が発生した場合でも、「迅速に医師へつなぐ、適切な医療を提供できる」という、総合病院ならではの強みを持っています。

当院の「院内助産システム」は、この強みを最大限に活かして、東部地域に合わせてカスタマイズされた出産の形態です。一つの医療機関で出産が完結し、妊婦一人ひとりに対して助産師・医師・看護師が円滑に連携することで、妊婦の方々は助産師との温かい関わりと、病院ならではの医療の安心を同時に享受でき、また、ご家族の方々も病院内で安心して出産を見守ることが可能です。

院内助産 Q & A

院内助産の利用に関するQ&Aです。院内助産の対象基準、費用、医師の管理に切り替わる条件やタイミングなどで気になっていたことがございましたら、ぜひご参考ください。

Q1.
誰でも利用できますか？

A 誰でも利用はできません。
対象基準項目を満たす妊婦が対象です。

院内助産には対象基準があり、身体的所見6項目、家族歴5項目、既往歴6項目、出産歴12項目、その他1項目を加えた合計30項目を満たす妊婦が対象となります。例えば、「自然妊娠で年齢が40歳未満」、「両親あるいは兄弟姉妹に糖尿病患者がいない」、「子宮奇形の既往がない」、「帝王切開や早産の経験がない」、「低出生体重児の出産歴がない」、「たばこを吸わない」などがあります。基準項目を満たしていない場合は、通常分娩対象者となります。

Q3.
費用は通常と変わりますか？

A 特に変わりはありません。

費用は通常分娩と同じく42万円程度です。個室費用も含まれます。

Q5.
会陰切開はするの？

A 基本的に
会陰切開はしません。

産前から外来で会陰マッサージを指導します。会陰保護をしながら出産に望みますが、会陰が裂けた場合は、医師が縫合します。

院内助産に関するご質問、お申し込みについてはこちら
お問い合わせ先：**0887-34-3111**
(産婦人科外来)

助産師 資格一覧

- ・アドバンス助産師(8名) ・産後ケア実務助産師(2名) ・NCPRインストラクター
- ・ALSOプロバイダ ・J-CMELS ・アドバンスプレコンサポーター ・受胎調節実地指導員
- ・日本マタニティーヨーガ協会認定インストラクター ・養護教諭(二種免許状) ・保健師

Q2.
医師の管理に切り替わるのは
どんな時ですか？

A 妊娠管理中に異常が生じた時、
医師の管理に切り替わる場合があります。

例えば「妊娠管理中に不正出血がみられた」、「分娩のために入院し、助産師が対応していたが、妊婦さんが38度以上の発熱が出た」、「前期破水で羊水が混濁していた」、「赤ちゃんの脈が速い・遅い」など、妊婦さん、または赤ちゃんが、このような異常項目の一つでも該当している場合には医師に報告し、必要時には出産前や分娩中でも、医師の管理に切り替わります。また、出産後の赤ちゃんの看護でも、異常があれば小児科医に報告し、小児科医の診断・管理に切り替わります。

Q4.
出産の際に、
夫や子供の立ち会いはできますか？

A 夫のみ、
立ち会い可能です。

申し訳ございませんが、子供さんの立ち会いに関しては、感染管理上、立ち会いを控えさせていただいております。

Q6.
赤ちゃんはいつから一緒ですか？

A 生まれてすぐ
一緒に過ごせます。

基本的に母児同室制となりますので、生まれてすぐ一緒に過ごしていただけますし、すぐに直接授乳もできます。



産後6ヶ月までの赤ちゃんのご家族を対象に「産後ケア」を行っています。育児相談から、赤ちゃんとお母さんのケアまで助産師が幅広くサポート。毎週木曜日10時～16時、1日1組(予約制)です。

産んだあとも、
ひとりにしない

新設「産後ケア」 私たちがお母さんのためにできること

育児の疲れを和らげる ママのリラックスタイム

育児という大仕事でお疲れのママに、寛ぎと安らぎの時間を提供するリラックスタイムを実施しています。病院内にママ専用の個室を用意していますので、助産師が赤ちゃんをお預かりしている間、こちらの個室でリラックスしながら、心身をリフレッシュすることができます。



ママと赤ちゃんでエクササイズ♪ 楽しく過ごすリラックスタイム

産後ケアでは、助産師(インストラクター)のもと、ママに向けたヨガやボディマッサージ、足湯のサービス、赤ちゃんへのベビーマッサージなども行っています。育児のことや、ちょっとした相談、何気ないおしゃべりをしながら、赤ちゃんとお楽しみ過ごしていただけます。



育児に関するママの悩みを解決！ 助産師が応じる育児相談

赤ちゃんの発育・発達に合わせた育児の相談や授乳など、助産師がママの困りごとや戸惑いと向き合ってサポートを考えます。実際に育児が始まって感じた困ったことや分からないこと、赤ちゃんの発育・発達に関するお悩みなど、なんでもお気軽にご相談ください。



健康的なお昼ごはんとおやつで ママのエネルギーチャージ！

出産後の産褥期～授乳期は、身体の回復や、貧血・便秘予防、母乳分泌のために、バランスの良い食事を心がけたい時期。当院の産後ケアでは、この時期のママに向けて、管理栄養士が考案した栄養バランスの整ったお昼ごはんやおやつを提供しています。



※産後祝い膳の1例

R8年スタート!

MEDICAL SERVICE UPDATE

「女性の健康支援センター」

すべての女性が、自分らしく。

ライフステージに寄り添う、切れ目のない地域ケアを目指して

SPECIAL FEATURE

「切れ目のない支援」構想への想い

女性の生涯は、思春期、成熟期、更年期、そして老年期へと、月経やホルモンバランスの変化に伴うダイナミックな波の連続です。これまでの医療は、その時々々の症状や病気を診る「点」のケアが中心でした。しかし、本来健康とは、過去から未来へと繋がる一本の「線」であるべきだと私たちは考えます。

私たちの「女性の健康支援センター」が目指すのは、人生のあらゆるステージを切れ目なく支える包括的なケアです。例えば、妊娠前からの体づくり(プレコンセプションケア)が健やかな出産に繋がり、産後の心の安らぎが幸福な育児を育み、それがやがて訪れる更年期を前向きに迎えるための力強い土台となります。

安芸から広がるこの「絆のリボン」は、女性がどの年代においても「自分らしく、健やかに輝き続ける」ために、常に一番近くで寄り添い、支え続ける安心の象徴でありたいと願っています。周産期センターとの密接な連携はもちろん、多職種がワンチームとなって、地域を、そして女性の人生をまるごと包み込むような温かな支援を届けてまいります。

支援センター 6つの活動の柱



プレコンセプションケア

将来の妊娠を希望する方だけでなく、将来の自分の健康のために、若い世代から体調管理や栄養の知識を学ぶサポートを提供します。



産後ケアの充実

退院直後の心身の不安に寄り添い、授乳指導、休養、メンタルケアなど、母子が健やかなスタートを切れるよう専門スタッフが支えます。



小児科診療・育児相談

お子様の成長や病気に関する不安はもちろん、離乳食や発育の悩みについて、ご家族と一緒に解決策を見つけるトータルサポート体制です。



更年期特有の健康サポート

ホルモンバランスの急激な変化に伴う、心身の様々な不調や悩みに対し、お一人おひとりに合わせた治療やケアを提案いたします。



骨粗鬆症ケア・骨の健康

女性に多い骨密度の低下。早期発見・早期対策を行うことで、将来にわたってアクティブで自由な生活を維持するための予防医療を推進します。



女性特有の疾患・総合相談

ライフステージごとのデリケートな悩みに対し、医師、助産師、管理栄養士などが連携し、最適なアドバイスを行う窓口を開設します。

妊娠・授乳と薬



妊娠中または授乳中は、薬が必要な母親だけでなく赤ちゃんへ悪影響が及ぶ可能性があることから、心配して必要な薬の使用をためらう方もいます。必要度の低い薬の安易な使用は避けるべきですが、薬が必要とされる場面もあります。自己判断で薬を中止したり我慢したりすることは、かえって母体の健康を損ない、結果的に赤ちゃんにも悪い影響を与える可能性があります。妊娠中の薬の使用や合併症の有無にかかわらず、どんな妊娠でもベースラインリスクが存在します。先天異常は約3%、自然流産は約15%の頻度で発生するといわれており、薬の使用がない場合でも一定のリスクが存在します。こうしたベースラインリスクと比較して、薬の使用によりそのリスクが上昇するか、上昇するとしたらどのくらいか考える必要があります。

薬剤師さんに聞く
お薬のはなし

1. 妊娠中の薬の影響について

母親が薬を飲むと、胎盤を通じて胎児の血液中へ移行することがあります。妊娠中に薬を使用した時期によって、胎児に与える影響は異なることから、薬を使用した時期が妊娠のどの時期にあたるのかを確認することが重要です。

【図：妊娠週数と薬剤の影響】

妊娠月数	1か月				2か月				3か月				4か月				5か月				6~10か月	
妊娠週数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20~38	
胎児の変化					中枢神経、心臓、四肢などが形成				性器、口蓋などが発達				各器官の機能が発達									
薬の影響	無影響期				絶対過敏期				相対過敏期・比較過敏期				潜在過敏期									
説明	この時期に薬を使用することは流産を引き起こす可能性があります。もし死亡しなければダメージは修復され、先天的な異常は発生しないと考えられています。				主要な器官の形成期です。胎児は薬物に対して非常に敏感であり、催奇形成のリスクが懸念されます。				主要な器官の形成は完了しますが、口蓋や性器などの形成は続いており、先天異常や、大奇形は起こさないが、小奇形を起こしうる医薬品がごくわずかあります。				主に胎児毒性を考慮する時期です。アンジオテンシン変換酵素阻害薬、アンジオテンシンII受容体拮抗薬による胎児腎機能障害や羊水過小、非ステロイド性抗炎症薬の妊娠末期曝露による胎児動脈管早期閉鎖などに注意が必要です。									

2. 授乳中の薬の影響について

多くの薬は母乳へ移行する量はごくわずかであり、乳児が母乳を介して摂取する薬の量は非常に少ないとされており、有害な影響を及ぼす可能性は極めて低いと考えられています。ただし、抗悪性腫瘍薬や放射性ヨード、アミオダロンなど影響が出る可能性がある薬もあるため注意が必要です。分からないことや不安なことがあれば、お気軽にご相談ください。

薬剤科 田村 彩楓

春の二字熟語クロスワード

□のなかに漢字を一つ入れて、タテ・ヨコの二字熟語を完成させよう!

問1

	青	
早	?	分
	風	

問2

	桜	
生	?	火
	見	

答えは、病院ホームページの
新着Newsを確認!
<https://akihp.jp/index.html>

青 □ 風 早 □ 分

桜 □ 見 生 □ 火